

米オフィス家具メーカー、スチールケース 社が Think[®] チェアをアートする企画展

「Love is in the Chair」を開催

トーキョークリエーターやインテリアデザイナー8名が参加

スチールケース社(本社:米国ミシガン州、日本支社:東京都港区、代表取締役社長:ウリ グウィナー)は、数々のデザイン賞を受賞した同社のチェア、「Think」チェアの12色の新色カラーの導入を記念して、東京の著名なアーティストやインテリアデザイナーに参加を呼びかけ、Think チェアをアートする企画展、「Love is in the Chair」をスチールケースワークライフトウキョーで開催しました。

この企画展の背景には、同社の「オフィス環境」と「デザイン」、「アート」を結び付けることで、デザインが軽視されている「オフィス環境」をより、インスピレーションにあふれる「場」の創造を啓蒙するものです。今回の企画展はアジアパシフィックの主な都市、シンガポール、北京、上海、香港、東京、シドニーで開催される予定で、各都市の地域特性、文化、トレンド等が個々のアーティストのビジョンおよび形と機能の表現として反映されることとなります。

この企画展と同時開催で、同社ではThink チェアの14の新色カラー、また、オフィスでの共同作業やミーティングの増加に伴うコラボレイティブスペース(共同作業スペース)用プロダクツ、cobi[®] チェア、i2i[®] チェアおよび ネットワーク型テーブル media:scape[™] を発表しました(別途リリース添付)。



(左から、重松、クラインダイサムアーキテクツ、姉川、長岡、スティーブンリーチ、ゲンスラー、山本、トラフ、の作品)

[今回の企画展参加アーティストおよびデザイナーのプロフィールと作品コンセプト]

■ 重松 淳也 プロフィール

1970年生 ‘03年東京藝術大学美術学部デザイン学科卒業、紙媒体、映像、インスタレーション等を中心に幅広く活動中。 <http://ww.shigematsujunya.com>

作品: 思索、創作において、常に未知なる扉を見つけ開きたいと願う。思考の先に閃きを。

■ クラインダイサムアーキテクツ(KDa) プロフィール

クラインダイサムアーキテクツ (KDa) は、建築、インテリア、パブリックスペースおよびインスタレーションなどの設計分野で活動するデザインオフィス。その活動は東洋と西洋をつなぎ、外からの視点でしか生み出すことができない新鮮なビジョンやインスピレーションを発信しています。 <http://www.klein-dytham.com/>

作品: グリーンオフィス環境に一人ひとりが貢献する! 植物があれば空気はいつもフレッシュ。水やりしながらリフレッシュ! プライバシー対策も音響効果もばっちり! Window Box Seat で毎日楽しく成長しましょう!

■ 姉川 たく プロフィール

アーティスト、アートディレクター。KANIKAPILA DESIGN Inc 代表。糸としての存在に着目した作品群は、アートとカルチャーの両シーンを貫きつつ、どこか先鋭的な世界観を内包している。

作品:

牛肉からほとぼしる肉汁。したたる肉汁は新鮮な血液。滝になり下界へと流れ落ちる。イスの上は雲の上であり、神々の住む宇宙である。座して暮らしていた私たちは、イスによって神の視座を手に入れた。

■ 永岡 大輔 プロフィール

ドローイングという手法の延長として、映像、立体、ミクストメディア作品も制作しながら、新しいドローイングの表現を追求している。

作品:

「少し未来の痕跡、或は現場 そして現在について」

デスクチェアを見る事は、ここで仕事をしたと言う、所謂痕跡を見る事です。そしてこのプロジェクトは、新しい椅子が対象です。故に未来の仕事の痕跡を探すような物だと思い、行いと痕跡が見える形で制作しました。

■ スティーブリーチアソシエイツ プロフィール

スティーブリーチアソシエイツは、1973年に香港で設立されたスティーブリーチグループの日本支社。1977年に東京にオフィスを構えてから、あらゆるサイズのオフィス、商業施設など多岐にわたるインテリア設計を手掛けてきた。 <http://www.sla-group.com>

作品:

今年も櫻の季節がやってきた。その花が満開になる貴重な時期に、我々はパソコンのモニターに向かって仕事をしている。このチェアに座れば、本当の花見を楽しむことができない時でも、花見をしているような気分を味わうことができる・・・はず。

■ ゲンスラー東京(Gensler Tokyo) プロフィール

ゲンスラーは建築、デザイン、プランニングおよび戦略コンサルティング業務で世界をリードし、お手伝いをして45年。仕事と生活の質の向上に重点を置いた空間造りのパイオニアであり続けるよう努めています。

作品: 建築やインテリア業界でCGを使ったプレゼンが圧倒的に増えているこの頃。スチレンボードでオフィスデザインの模型を作り、途方もない数のミニチュアの椅子を並べた日々を懐かしく思い出しました。そこには確かに愛があったような気がします。

■ 山本和久(Donny Grafiks) プロフィール

グラフィックデザイナー「目で見てわかる、感じる、を最小限の表現で最大限に伝えること」をコンセプトにノンバーバルなデザインを展開。 <http://www.donnygrafiks.com>

作品: 「大切な物を埋めました」

■ 鈴野浩一 禿真哉(トラフ建築設計事務所) プロフィール

鈴野幸一と禿真哉により2004年にトラフ建築設計事務所設立。建築の設計をはじめ、インテリアデザイン、展覧会の会場構成、プロダクトデザインなど、幅広く取り組んでいる。 <http://www.torafu.com>

作品: 「タヌキのシッポ」

座った瞬間にだれでもタヌキに変身できるチェア。シッポは自在で、取り外すと腰をサポートするクッションにもなります。少しの仕掛けでオフィス空間を和ませる提案です。

【Steelcase Inc. スチールケース社について】

Steelcase Inc. は、1912年、米国ミシガン州で創業したオフィス家具メーカーです。家具は木製が常識だった時代に業界で初めて耐火スチールデスクを開発。オフィス家具の常識を一変させて以来、先進的な製品やソリューションを数多く提供してきました。独自の調査分析はもちろんのこと、大学機関、研究所、シンクタンクなどのイノベーターとパートナーシップを組み、異業種と積極的にコラボレーションをしながら、つねに革新的な家具とワークプレイス戦略を迫及しています。その製品は、650以上のグローバルな販売代理店網を通して、世界中でご購入いただけます。2009会計年度の売上高約32億ドルのスチールケースは、業界をリードするグローバルな株式公開企業です。

詳しくは、<http://www.steelcase.jp/>をご覧ください。

【添付資料】

製品写真(DVD内)

< 報道関係者の方からのお問い合わせ先 >

日本スチールケース株式会社

担当：水野／早川

TEL: 03-3448-9611 FAX: 03-3448-9617

E-MAIL: mari.mizuno@steelcase.com